

大型新規事業より既存施設のリニューアルを!

現在の松戸市は、赤字マンション建設の新松戸区画整理事業、約232億円、工期10年の快速列車停車事業(合計400億円以上)や、市役所の移転を含めた新拠点ゾーン開発事業(総事業費500億円以上?)、新焼却施設建設(40億円以上?)など大型新規事業を進めようとしています。

しかし、これらすべてを行うのは、今の松戸市財政状況からは、難しいと考えます。

そこで、既存施設のリニューアルを! まずはすべきです。今ある施設をアイデアで、より使いやすく便利に! 原ゆうじは、もっともっと住みやすい松戸に変えてまいります!!



運動公園野球場の改修。硬式球使用可で、高校野球の試合実現を!

ご存じですか? 現在の運動公園野球場は、実は軟式野球場で、高校野球などで使う硬式球は使うことが出来ません。なぜか? 防球ネットの高さが、20mしかないからです。あと10m高くして30mにすれば、硬式球使用可能となります。

人工芝、電光掲示板の球場が、軟式ボール専用はもったいない! 50万人都市にふさわしい硬式球使用可能な球場への改修を目指します。



(人工芝の運動公園野球場)



和名ヶ谷クリーンセンター(C.C)からの送電で、電気の地産地消実現を!

ご存じですか? 和名ヶ谷C.Cでは、ごみを燃やして発電を行い、まず、工場内で消費、余剰電力は入札し、販売をしています。

令和元年度は、発電量2442万kwh、売電量1209万kwh、売電金額は約1億5千万円となっています。

しかしその単価は、1kwh当たり約12.4円と安いもの。原ゆうじの「市施設へ送電すべきでは?」との提案が実現し、隣接のスポーツセンターへ送電が実現しました。(停電しない避難所に)

まだ多くある余剰電力を市内の学校へ送電。皆さんが出したごみで発電、発電した電気を学校で消費する**電気の地産地消**を実現させます!

その他、市施設の屋根に太陽光パネルを設置、環境にやさしく経済的で、災害時でも停電しない施設へリニューアル! 市内の公園で、普段は禁止されているキャッチボールやサッカーなどの球技が、曜日を決めて使用可能にして、子供たちの体力向上! 市有車をEV(電気自動車)化、災害時のバッテリーとして避難所で使用するなど、アイデアで松戸をリニューアル! 全力で取り組みます!!



▲原の提案が実現! 太陽光パネル搭載のひがまつテラス



プロジェクト イメージ図

武蔵野市のごみ発電による電気の地産地消イメージ図▶

私たちも原ゆうじさんの政策を応援しています



21世紀の森と広場をリニューアル!

もっとワクワク
楽しい公園に!

公園改革
No.1
泊まれる
公園に!

公園改革
No.2
災害時の
避難所に!

公園改革
No.3
ペットにも
優しく
学べる
公園に!

税金の無駄遣いは許さない!

松戸市議会議員

無所属

原ゆうじ

松戸生まれ
松戸育ち! **原ゆうじプロフィール**
(1965年 松戸生まれ)
松戸市立上本郷小学校、第六中、立教高校、立教大学理学部化学科卒業
長瀬産業(商社)勤務を経て、家業であるベーカリー店を継ぐ
現 北松戸商店会会長
平成22年「市立病院移転の是非を問う住民投票を求める会」元代表
平成22年 市議会議員初当選
平成30年 市議会議員3期目当選
(家族) 妻、4子(3男1女)の6人家族
(趣味) 中学から大学まで弓道部(弓道三段)
中学時代 県大会 優勝、大学時代 インカレ出場
スポーツ吹矢(四段)、パークゴルフ
野球、少年軟式野球チーム矢切コンドルス代表

ブログも好評配信! <http://hara88.mobi>
原ゆうじ事務所
〒271-0064
松戸市上本郷905-2 ヨシダビル2F
TEL & FAX:047-366-2088
yuji.hara88@gmail.com



原ゆうじ 検索

(インザパーク)
**泊まれる公園へ! 「INN THE PARK」
の試みを松戸でも!**

泊まれる公園「INN THE PARK」とは?

(原ゆうじ4年前に日帰り視察)

沼津市の郊外、約60ヘクタールという広大な愛鷹公園内にあった「少年自然の家」を現代的にリノベーションした新しい複合型宿泊施設です。

宿泊施設は、森にひっそりと浮かぶ球体テント。芝生公園を満喫できるグランピングテント。コテージタイプの宿泊棟と3種類の宿泊施設があります。

原ゆうじの提案:インザパークには、宿泊施設の他、レストラン、バーベキュー場、センターハウス(浴場あり)などがあります。

一方、森と広場にも、バーベキュー場、森のホールにはレストランはすでにあります。

次に、宿泊施設となる球体テントですが、こちらは安価(1組100万円〜)なので、費用的には、実現はそう難しそうではありません。

残るはお風呂ですが、こちらは思い切って温泉施設導入を提案したいと思います。

松戸市は、矢切道の駅構想で、温泉施設導入を以前提案していましたが、導入するなら断然、森と広場だと思っています。

年間来園者数で、同規模の船橋アンデルセン公園に大きく差をつけられています。森の中の露天風呂実現で、目標の年150万人突破を目指します!

福岡、沼津とも自治体と民間会社がタッグを組み、運営は民間会社が行っています。

この取り組みを松戸でも! 21世紀の森と広場をもっとワクワク楽しい公園に!

原ゆうじは実現に取り組みます!

沼津市での成功を経て、今年3月、INN THE PARK 福岡もオープン。こちらはなんとペットもOK! 大きな話題となっています。↓



夕暮れ時の球体テント



エアコン完備の球体テント内部



夏の球体テント



福岡のINN THE PARK(海に浮かぶ?球体テント)

森と広場を災害時、泊まれる避難所に!

21世紀の森と広場は、大災害時の広域避難場所に指定されていますが、あくまでも一時避難場所であり、体育館のように避難所ではありません。

松戸市民の多数の避難となれば、避難所が足りません。ではどうしたら?

そこで、原ゆうじが目指すのは、泊まれる機能と同時に防災公園としての機能も兼ね備える公園にすることです。

通常時は泊まれて楽しい公園、災害時は防災公園にと、一石二鳥の公園改革を行います。

必要な設備は

●避難用テントの準備

(通常時はキャンプ用として貸出)

- 炊き出し用のかまどになる「かまどベンチ」
- 生活水を確保できる「耐震性貯水槽」
- 非常用トイレを設置するための「非常用便槽」
- 停電した際も周囲を照らしてくれる「太陽光発電の照明」
- シートを張れば部屋として活用できる「防災あずまや」
- 保存食や備品を収納している「備蓄倉庫」

これらを整備し、安心して暮らせる街、松戸を目指します。



かまどベンチ通常時



災害時、かまどとして使用

広さを活かせ! ペットエリアの新設、公園周辺に保育所を! 園内図書館の整備を!

アイデア No.1

公園周辺に保育所の新設



松戸市は、待機児童ゼロとするため、市内各所に0~2歳児用の小規模保育所を117か所も設置していますが、外で遊べる園庭が無いため、保育環境への懸念が指摘されています。

理想は、園庭のある0~5歳児まで保育可能なフルスペック保育所の設置ですが、費用や、土地の確保などの課題があります。

そこで、21世紀の森と広場周辺(調整区域等)にフルスペック保育所を設置、公園を園庭として利用することを目指します。広い公園で、のびのび保育。必ず実現させたいと思います。

アイデア No.2

ペットエリアの新設



エリアを決めて、ペット入園可能とすることで公園の魅力、来園者増につなげます。

又、災害時、貴重なペットの同行避難が可能な避難所として運営します。

アイデア No.3

園内図書館の整備



既存のパークセンター内に、図書コーナーを設置。晴れた日には、芝生で寝転んでの読書をしていただきます。

多額の費用を掛けずにリニューアルを! 原ゆうじは公園改革に取り組みます!!